

会報

国鉄闘争全国運動

第37号

2013年6月16日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

解雇撤回10万署名を集めよう

6・9シビックホールに1800人



田中康宏 (国鉄千葉動力車労働組合委員長)

◎動労千葉からの報告

田中康宏 (国鉄千葉動力車労働組合委員長)

私は、国鉄分割・民営化で解雇になった者として国鉄闘争を語る時に、半分は国鉄労働者がもっと分割・民営化に闘えてい

れば日本の労働者の置かれた現実や労働運動の現状がこんなにひどくはなっていないかという気持ちで語れませんか。

私たちはこの闘争を絶対に継続して、国鉄分割・民営化に決着をつけ、それ以降、労働者を襲った非正規化、貧困化、労働組合の弱体化に決着をつけて反攻の勢いを出る決意を固めています。

数日前、安倍政権が「第3の矢」成長戦略を発表しました。キーワードは「民間活力の爆発」です。全面的な民営化を労働者に強制することです。結局、支配階級は国鉄分割・民営化の原動力に帰ったのだと思

います。だけど考えて下さい。この20年間、民営化、規制緩和、社会保障解体という政策は全部破綻した。安倍政権の掲げたものは、改憲・戦争も含めて全部崩壊する。僕は確信を持っています。

問題はそこから先です。その時に闘う労働組合が存在しているかどうか。支配階級の政策の全面崩壊がもたらすものが、労働者にとって本当の意味で団結を回復し、闘いを再開し、労働組合を復権する希望となるのか。

真実を暴き出す時
1047名解雇撤回闘争をめぐって画期的な東京地裁判決が下りました。動労千葉12名をはじめ1047名が解雇されたのは、「国鉄分割・民営化に反対する職員を不当に差別する不当な動機・目的のもとに不採用

か。絶望となるのか。これは僕らの闘いにかかっています。仲間たちと共にもう一回決意したい。すべては分割・民営化から始まった。すべてがウソだった。政府と国家による労働者への全面戦争だった。これを暴き出し、決着をつける時、逆転が始まります。

◎呼びかけ団体より

西山直洋 (全日建連帯労組 関西地区生コン支部執行委員)

国家的な不当労働行為、これをどう見るか。そのまま容認すれば民間に当然波及します。そういうことを私たちは一切認めたくなく最後まで闘っていく決意でがんばってきたいと思



西山直洋 (全日建連帯労組 関西地区生コン支部執行委員)

います。みなさんともに組織を大きくして闘う必要性が求められていると思います。業種関係なしに組織を拡大して、生コンのみならず業種別に闘争をやっていくこと、第1弾として医療介護労働者の組合を立ち上げました。同じ業種で働く労働者、労働組合が共同して闘い、要求し、ストをする闘い

◎解雇撤回署名呼びかけ人
杉本一郎 (自交総連北海道地連書記長)



杉本一郎 (自交総連北海道地連書記長)

4・9で多くの人が闘いの旗を降ろす困難がありました。4・9で多くの人が闘いの旗を降ろす困難がありました。4・9で多くの人が闘いの旗を降ろす困難がありました。

難波裁判長の結審強行にも負けないで9月25日判決に向けて署名をもっと集めようという闘いが続いています。現在、署名数で2万1694筆、個人団体338筆、韓国よ

動労千葉・強制出向無効確認訴訟
東京地裁第2回口頭弁論
7月3日(水) 14時 / 東京地裁527号法廷

お前らが案をつくれ」と。国鉄改革のすべてが国家的な不当労働行為であったことが、26年たつて全部明るみに出ようとしています。この真実が暴き出されたら、それ以降に起きたこと全部が不当であり間違いだったとなる。

外注化との闘い
これからの勝負です。現場では去年10月、外注化が強行されました。分割・民営化は26年前で外注化が本格化したのは01年です。1047名解雇撤回闘争があつたから民営化直後に外注化に踏み切れなかった。

動労千葉は必死に10数年間抵抗しました。01年に提案されて、実施強行が11年後の去年10月です。本当は分割・民営化後にやりたかった外注化を25年間、小さな力でも阻止できたんです。

現場での外注化や民間委託、アウトソーシング、労働者を非正規に突き落とす攻撃に労働組合が勝てなかった結果として、2千万労働者がワーキングプアに突き落とされた。ここで労働組合が立ち向かうことができると示せば、絶対に労働組合はこの時代に復権します。

膨大な労働者の意識が歴史的に動き始めています。労働者が団結を取り戻すしか希望・未来も取り戻せない。いま必要なのは何か。全国の自らの職場から、新たな時代の反合理化闘争、団結を回復する。これができれば時代と結びつく。

闘いを一つにつなぐ運動を

伊藤寛 (日本近代史研究者)



40年くらい前のころ、労働組合が職場

前にあるのは当然の当り前でした。しかし、その労働組合は、自分のところの賃金

ただ当時、資本の側も不当労働行為はだめだという建前はあった。しかし実際には、労働

◎開会あいさつ



納得できない世の中の流れに対する怒りを共有しよう

花輪不二男 (世田谷地区労働組合協議会顧問)

彼たちが考えている憲法概念は、旧帝国憲法です。民主主義を否定し天皇制を擁護する。人権を抑えて義務を国民に押しつける。騒げば戒厳令で弾圧する。国防軍を創設して戦争をできる国に変える。沖縄の辺野古に基

常な努力をいたしました。自治体労働者は「賃金7.8%値下げは自分たちだけの問題ではない。この問題は全国の労働者の問題である」と、そういうつもりで闘争に立ち上がった。私はそれが階級的労働運動だという答えを出しました。

いま全国でそういう志を持って闘っている運動は、労働運動が衰えたりといえ無数にありません。問題はこれがひとつの力にまとまっていない。このことを私たちは大きな課題として見据えなければなりません。いま存在しているそういう運動をひとつにつなげる。ここに階級的労働運動の課題があります。その場が国鉄闘争全国運動であると思っています。

韓国における解雇撤回闘争



最近の韓国労働運動の現状について

金元重 (韓国労働運動史研究者)

組織の拡大で外注化とめる



いつもご支援ありがとうございます

山田護 (動労千葉幕張支部)



か。韓国の最高裁が現代自動車における社内下請け工を不当派遣であると認定して是正するよう命令したにもかかわらず、現代自動車資本がそれを受け入れようとしない。いったん最高裁まで行ったのに、不服だといって行政訴訟をして実に9年

◎閉会あいさつ



今日の集会を大勝利と確認したいと思

入江史郎 (ス労自主合委員長)

外注化を始めたのではありません。外注化を始めたのになんでこんなに新採を入れるか。自分たちの攻撃が失敗する

ろと座り込み闘争に入った。今ひとつ、鉄道労組がKTXの民営化絶対反対で闘争を組む

いまひとつは、全国公務員労働組合が、パクネ政権になって4回目の組合設立申告書を提出しました。イミョンバク政権のときに3回にわたって設立申告書が却下されている。政府は、組合員の中に解雇労働者が130人ほど含まれているのは公務員労働法に反すると認めない。全国公務員労組は、政府庁舎前で5月22日、委員長をはじめ49人が連行されましたが彼らは政府国会が公務員労組の認定、解雇公務員の復職を解決し

10万筆署名でひっくり返す



この裁判の始まる前、難波裁判長が「まだこんな

高石正博 (動労千葉争議団長)

私、この裁判の身を訴えこんなことがあってはいけないと訴えてきました。9月25日までに10万筆の署名をとって前進していこう。いろんなところでみなさんの協力を得ながら話してきました。各地方からどんな署名が集まっています。僕たちにもこれだけのバックがいるんだと心に誓いまして、これから闘っていく。どんな判決が出ようとも最後まで貫徹して、初心を忘

団結すれば断じて負けず



国鉄の分割・民営化から26年が経ちました。しかし私たちは断じて負けず

小玉忠憲 (国労秋田闘争団)

昨日、マルクスの書いた『共産党宣言』を読み返してみました。あらゆる社会の歴史は階級闘争の歴史であること、労働者階級は失うものはもうこれ以上何も無い階級であること、そして国境・民族を超えて一つであること、団結すれば絶対勝てるんだということが熱烈に書かれてありました。そして最後の締めくくりに「団結せよ!」です。私たち国労闘争団は全人生をかけて決意で闘ってまいります。今後ともよろしくお願